

手指消毒剤用 カチオン界面活性剤のご紹介



現代社会に、“清潔”というあたりまえを。

手指消毒剤ビジネスの急速な拡大

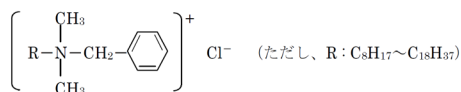
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染予防策の一つとして、手指の消毒・殺菌の重要性が再認識されております。ウイルスがついた場所を手で触らないことは対策のひとつですが、不特定多数の人が触るものに手を触れずに生活することはなかなかできません。また、ウイルスが付着した場所でウイルスはその力をすぐには失わないので、注意が必要です。そのため、こまめな手指の消毒・殺菌が重要となります。



主成分：ベンザルコニウム塩化物/0.05w/v%
その他：エタノール、グリセリンなど

塩化ベンザルコニウム型カチオン界面活性剤

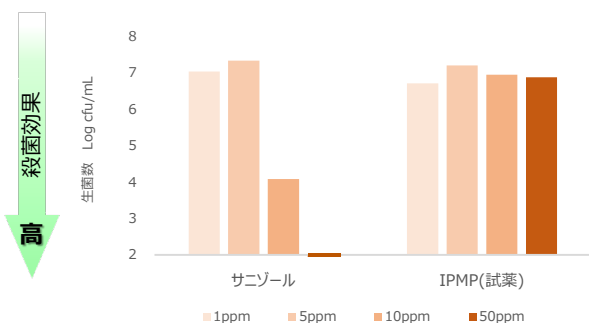
サニゾールシリーズ



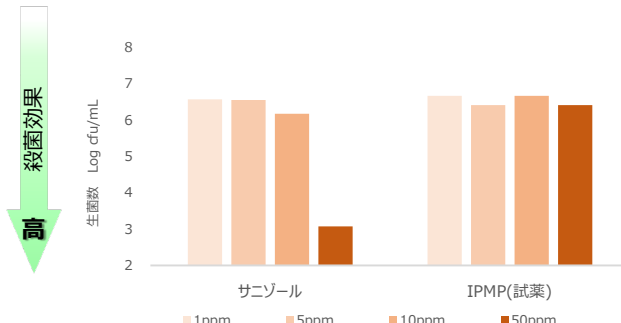
製品名	成分名	公定書	有効分 (%)
サニゾール B-50	ベンザルコニウム塩化物液	外原規	50
サニゾール C	日本薬局方 濃ベンザルコニウム塩化物液50	日局	50

① 大腸菌試験

試験条件：菌接触時間：10分間 N=3 EW pH7の希釈サンプル 各濃度198μL 菌液：2μL 初発菌数：10⁷cfu/mL



② 黄色ブドウ球菌



サニゾールは他殺菌剤 (IPMP) と比べて、高い殺菌効果を有します

③ 石炭酸係数 (殺菌力)

石炭酸係数：殺菌力が石炭酸 (フェノール) の何倍であるかを示す値 (F.D.A.法、37℃)

細菌の種類	石炭酸係数
大腸菌	358
黄色ブドウ状球菌	407
チフス菌	429
緑色連鎖状球菌	434

④ 推奨濃度

手指消毒洗浄用：500倍希釈 (0.1%)
衣類、ガーゼ、包帯：2000倍希釈 (0.025%) 液に10分含侵
部屋、病室の消毒：2000倍希釈 (0.025%) 液を噴霧

*()内はサニゾール目安配合量

※サニゾールはカチオン性界面活性剤の為、
アニオン性界面活性剤と併用すると効果が低下します
洗浄剤処方ではノニオン界面活性剤との併用を推奨します